

ファッションや美容が大好きで、人の役に立ちたい思いもある。そんな自分の進路を探していた高校生の頃、切断した手指の外観を再現する装飾用義手の存在を知った。義肢装具士をめざそうと決め、専門学校で学び、義肢装具製作会社に就職した。

大学病院等を担当し、さまざまな症状とニーズを持つ人に出会った。常に固定装具の着用が必要なのに、多感な思春期の子供たちは恥ずかしさもあってつけたがらない。装具の色を変えたり、かわいいステッカーを貼るなど工夫した。ただ、企業内でできることには限界がある。お客さまの声を聞いて、納得いくものをつくりたい。そこで、実家の靴工房MAMMAで義肢装具士として働くことを決意。整形医療靴ブランド「MIKI」を立ち上げた。

工房には、靴職人の兄がつくるこだわりの高級靴を求め人、足に悩みがあって医療靴を求め人、多様なお客さまが訪れる。医療靴かどうかにかかわらず、どんな人に対しても美しく履き心地のよい、お客さまが「本当に履きたい靴」を届けたい。

足の変形、左右の脚長差、外反母趾など、症状は千差万別。医療靴は、一人ひとりの症状に合わせてオーダーメイドでつくられ、保険が適用される。しかし、機能性重視の靴がほとんどで、デザイン性は兼ね備えていない。MIKIなら、ファッション靴と医療靴を融合させられる。装具と合体したお洒落な靴、スニーカーの履き心地の革靴、持病で絶対に靴擦れを起こせない人のための靴擦れを防ぐ柔らかい抗菌素材を使った靴……。オーダーメイドで作り上げた靴をお渡ししたときの、お客さまの笑顔が何より嬉しい。私自身、これからもっと成長し、お客さまとの長い長いお付き合いを大切にしたい。

地元への思いもある。たつの市は皮革産業が盛んだが、知られていない。自身が経営者となって義肢装具士の立場から地場産業を盛り上げ、地域で雇用を生みたい。またさらに幅広い分野で医療靴を発展させたいと考え、2016年MAMMAから事業を独立させ「&MIKI」を設立。今、工房に併設する店舗を計画中だ。快適でお気に入りの靴と出会えれば外出したいという意欲にも繋がると思う。だから、もっと多くの人に、足が悪いからお洒落を諦める前にMIKIの靴の存在を知ってもらえるよう、チャレンジしていきたい。

優しくて、お洒落な靴を届けたい

菅野ミキ 義肢装具士



足の大きさに左右差がある人のための整形靴



軽くてソフトな履き心地のコンフォート靴

Miki Sugano

すがの みき

1988年兵庫県たつの市生まれ。神戸医療福祉専門学校三田校義肢装具士科卒。義肢装具士国家資格取得。義肢装具製作会社に入社、身体にさまざまなトラブルや悩みを持つ方々に対し、義肢や装具の製作を行う。2014年より靴工房MAMMAに参加。整形医療靴ブランド「MIKI」を立ち上げ、デザイン性と履き心地を兼ね備えた靴づくりを追求。2016年より「&MIKI」代表。

<http://r.goope.jp/andmiki>

CONTENTS

02 Person 人・明日をつくる

優しくて、お洒落な靴を届けたい
菅野ミキ

03 [鼎談] 基軸を探る

イノベーションと成長戦略を考える

楠木 建 / 関 孝則 / 吉村慎吾

18 オピニオン

イノベーションへの視点

意義

「生き残りを懸けて破壊的イノベーションに挑む」 玉田俊平太

エネルギー

「ビッグデータ、IoT、AIの三位一体活用でエネルギーのスマート化へ」 依田高典

原子力

「原子力ロボットの可能性」 吉見 卓

25 旬発NIPPON

知られざる忍者の世界——忍びの里・甲賀

29 かんてんFOCUS

イノベーションに挑む

稲田浩二

34 現場力 最前線

新技術を活用したIoTサービスで
さらなる付加価値の創出へ